

施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	Ⅱ-2-(4)	
政策体系	施策名	未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進	所管部局名	商工観光労働部		
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部		
				長期総合計画頁	91	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	県経済の基盤強化に向けた新たな企業誘致の推進	産業集積効果を企業誘致に生かすための地場企業強化

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i	①	H26	20	45	68	151.1%	45							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	新型コロナウイルスの影響により、企業が投資を先送りした案件が動き出したため、目標値を大幅に上回る結果となった。県北部を中心とする自動車関連産業だけでなく、システム開発などの情報関連産業の誘致が進み、過去最多の誘致件数となった。	達成

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①②	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の強みである産業集積の厚みや市町村との連携による迅速なワンストップサービスを活かした誘致に積極的に取り組んだことにより、68件の企業立地があり、920人の新規雇用と、566億円の設備投資に結びついた。 ・遠隔地での在宅勤務を定着させるため、市町村や民間事業者が実施するサテライトオフィスの整備を支援した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	流通拠点整備推進事業	104.1	226
	サテライトオフィス整備・誘致推進事業	66.7	226
	企業立地促進事業	151.1	227

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○第6回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R4.2)</p> <p>・コロナによる地方移転の好影響な情報を教えてもらいたい。大企業が地方に目を向ける情報もあるのではないかな。</p>	<p>○知事と竹田市長の政策協議(R3.7)</p> <p>・中九州横断道路の延伸といった好機も活かし、物流や食品加工などの企業、サテライトオフィス等への誘致に積極的に取り組むもので、県の支援もお願いしたい。</p>
--	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの企業誘致による産業集積を活かして、自動車・半導体関連等の産業活性化の波及効果が大きい業種の企業誘致を引き続き進める。 ・市町村と連携してサテライトオフィス等の整備を行い、これまで誘致の進んでいなかった地域などへのIT関連企業の誘致も進めていく。 ・コロナ禍を経験し、在宅勤務が定着したことにより、働く場所を選ばない企業も増えており、企業誘致とともに、専門的スキルを持った人の誘致にも取り組んでいく。 ・県内の労働力の減少に歯止めをかけ、産業活力を維持・拡大するため、若者や女性の活躍が期待できるような企業の誘致を強化する。 ・県営工業団地の分譲促進と並行して、新たに大規模工業団地の整備を進める市町村への支援を強化するとともに、整備手法の選択肢を増やすため、市町村と連携する民間企業も支援し、整備の迅速化を図っていく。